

10. 江田島市最高峰

野登呂山 (542m)

江田島市



野登呂山は江田島、能美、大柿、沖美の4町が合併してできた江田島市の最高峰の山で、広島湾内の最高峰でもある。島の中心高地ということでうね山、宇根山とも言われる。

| | |
|--------|-----------------------|
| 江田島市 | 2017,4,1 推定 |
| <面積> | 100.7 km ² |
| <人口> | 242,09人 |
| <人口密度> | 233人/km ² |

【山行日】8月26日(土) ☆天候：曇り

【参加者】6名 CL小川勝正 SL西田文雄

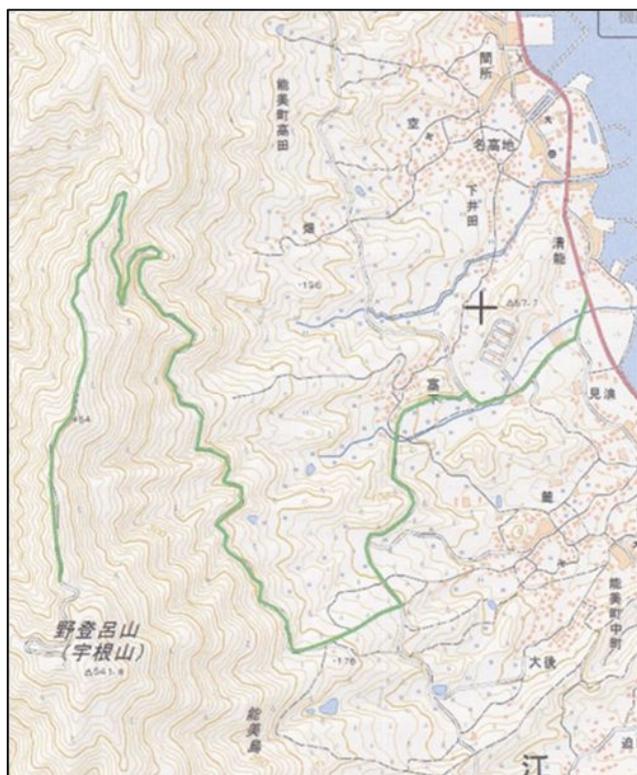
中島(美) 川野 宮木(一) 若木(一)

【コースタイム】三高港 9:40→(一般道・林道)→頂上直下の駐車場 10:20→頂上 10:50→11:30 美能海岸(昼食・キス釣り)→三高港 15:10→

【報告】

宇品港からのフェリーは定刻に三高港に到着。早速乗用車に分乗し野登呂山に向け出発する。江田島湾を左に見ながら一般道を南に進み、高田港を過ぎ、右に折れて野登呂山林道に入る。林道を約6km進むと林道の終点に到着。車を降りてここからは登山道を進む。以前は滑りやすい道であったが、最近地元の有志が階段をつけて改修したため登り易くなっている。登ること10分で頂上に到着。

17年前私が島に移住し始めて登った時はうっそうとした大木に覆われ、展望も何もなかった。山頂には一等三角点と天測点がある。明治時代は四方が見渡せ、天空が開けた山に違いない。現在は地元の人が大きな木と雑木を伐採し南側が開けており、鹿川の町や大黒神島が見渡せる。三角点と天測点の解説を西田さんにしていただき、記念写真を撮り元来た道を引き返し、11時半に美能漁港に到着した。(記 小川勝正)



今までやまぼうしで登った江田島市の他の山

古鷹山 クマン岳 真道山 砲台山

野登呂山山頂には一等三角点と天測点がある！

地図・測量まめ知識

一等三角点と天測点について

野登呂山山頂には一等三角点と天測点があります。一等三角点は日本の位置を決めるため（地図を作るため）に置かれた骨格となる基準点で、全国に990点あります。そのうち広島県には17か所あります。一等三角測量は陸地測量部が1883年（明治16年）から開始し、1915年（大正4年）に終了しました。

その出発点が東京都港区麻布台にあった東京天文台構内の「日本経緯度原点」で、現在もその地に保存してあります。

原点の経緯度は天文測量により求め、各一等三角点は順次三角測量により全国に広がっていききました。



野登呂山三角点（奥のコンクリート柱が天測点）



「日本経緯度原点」



三角測量イメージ図

一等三角測量には誤差が伴い、原点から遠くに離れるほど大きくなります。陸地測量部が観測した一等三角測量の値を規正するため、戦後、国土地理院の前身に当たる地理調査所が要所要所の一等三角点の近傍にコンクリート製の観測台を設置し、重量のあるカールバンベルヒ製70mm子午儀で観測を実施しました。これが「天測点」です。昭和26年から昭和33年の5年間で全国に48か所設置され、現在45か所現存しています。

天測点は中国地方には野登呂山の外、島根県松江市の朝日山山頂、岡山県井原市の龍王山山頂、山口県萩市高山山頂にあります。

参考資料（写真）：国土地理院作成パンフレット